

第 23 号

発行日 2024年2月10日
 発行 田尻学区コミュニティ推進会
 田尻地区社会福祉協議会
 発行責任者 木下 禎浩
 編集 広報部
 事務局 田尻交流センター
 電話・FAX (42)1552

田 尻

新しい年を迎えて

「地域活動にご協力を」



田尻学区コミュニティ推進会
 田尻地区社会福祉協議会
 会長 木下 禎浩

新年を迎えて一か月が過ぎました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年は災害が多い年となりましたが、今年は穏やかな年になることを心から願っております。

市内店舗や公共施設で特別な『体験』ができる制度です。新たな試みにより、若者から高齢者まで幅広い層に活動が広がるよう学区としても関わってまいります。昨年同様コミ推・地区社協活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3月からは、ボランティア活動に、日立市独自の『まらのコイン』（スマートフォン向け電子地域通貨アプリ）制度が導入されます。地域の清掃活動やイベントへの参加によって『コイン』を獲得し、健康で幸多き一年となりますようにご祈念申し上げます。

田尻学区自主防災訓練

1月28日、田尻学区自主防災訓練が田尻小学校校庭及び体育館で実施され、4年振りに屋外での本格的な訓練となった。元日に能登半島地震があったばかりで、住民の意識も高く多数の参加があった。

4つのグループに分け、参加者が順番に各訓練を実践した。初期消火訓練や煙道体験に続いて、車の避難場所として、車の活用について茨城トヨタから説明があった。また、体育館内では防災資機材の使用法、防災映像視聴、要援護者への支援について訓練を行った。さらに、「火事だ！」と大声で知らせる大声大会も行われた。

いつ起こるか分からない災害に常日頃から備えておきたいものである。



「要援護者」支援の実践



「煙道体験」を受ける



訓練内容について説明を受ける参加者

干支（十二支）にちなんで
 「竜・辰・タツ」



里美かかし祭の「タツ」

十二支の5番目。動物にあてはめると竜（龍）であるが、竜は十二支の中で唯一の想像上の動物である。辰年は、物事が動く変革の年とも言われ、過去には明治維新（明治元年1868年）、日露戦争（1904年）、東京五輪・東海道新幹線開業（1964年）、青函トンネル・瀬戸大橋開業（1988年）など、大きな出来事が多く、まさに動乱の年と言える。竜にまつわる言葉には、登竜門、画竜点睛、竜頭蛇尾、竜神、竜宮、独眼竜などがある。竜年生まれの著名人は、足利義政、手塚治虫、王貞治、小池百合子、坂本龍一、中島みゆきなど。昇龍の如く、飛躍の年でありますように。

今後の主な予定

- 2月18日（日）部長・グループリーダー会議
- 3月10日（日）部長・グループリーダー会議
- 3月17日（日）本部役員会議
- 4月13日（土）コミ推・地区社協総会

文化 部

10月21日～22日に行われた文化祭は、9月の台風豪雨被害後であったため、室内だけで実施し、数多くの作品が展示された。

21日は、琴の音会と尺八の演奏で始まり、続いてのハーモニカ教室メンバーによる昭和歌謡演奏では、会場の合唱と一体となり盛り上がった。さらに、「ふうりん」のメンバーによるオカリナとギターとの演奏とトークで和んだ。

その他、健康づくり推進部



絵手紙体験コーナーで

部会だより

田尻学区文化祭

による豆つかみ、血圧測定、握力測定や陶器の無料配布、布作品やハーブの販売、茶道のお点前、キッチンカーによるテイクアウトがあった。

22日は、絵手紙体験教室を行い、多くの来場者でにぎわった。

スポ・レク部

三世代レクと健康の集い

11月5日、田尻小学校体育館でニュースポーツゲームを中心とした「三世代レクと健康の集い」が行われた。

自由参加で、「輪投げ、スピード玉入れ、ポッチャ、スカットボール、ころころダーツ」の5つのゲームに成績をつけ表彰する企画にしたところ、小学生から高齢者まで、夢中になって楽しんでいった。ゲームの表彰では、1位から3位まで、また、抽選会では特賞から3等まで豪華賞品が授与された。さらに、全員に参加賞が渡された。



「スピード玉入れ」の決勝戦

環境美化部

今年度の田尻川河川敷清掃は、本部環境美化部と協力者で3回にわたって実施した。

田尻町2丁目～いわき線は、市が浚渫工事を行うため見送ったが、8月25日に、立下橋～JRトンネル、11月10日に、いわき線～立下橋。さらに、11月20日にはJRトンネル～鈴道橋を



暑い最中、JRトンネル付近を清掃する

田尻川河川敷清掃

実施した。来年は多数の参加を期待したい。

青少年健全育成部

青少年健全育成連絡協議会

12月9日、青少年健全育成会が交流センターで開催された。

はじめに、田尻学区の防犯・防災状況についての報告と、各学校の児童生徒の様子について各関係各位からお話をいただいた。

続いて、「地域で、子どもたちの育ちを支える活動とは」の演題で大島澄江さんの講演会を行い、11月18日に行われた「かわさきエコ暮らし未来館」のお話を中心に各家庭で行われているエコ活動について、



テーマについて講演をする大島澄江さん

各グループの発表を行った。ユニークな意見があり、楽しい講演会となった。

田沢消防所だより

火災の多い季節です



春の足音が近づいておりますが、まだまだ寒い日が続いております。

春先は空気が最も乾燥する季節で、火災件数が多くなります。市民の皆様におかれましては、日常生活での火の取扱いや暖房器具の使用に十分注意していただきますようお願いいたします。

日高交番だより

運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！

歩行者・自転車利用者は反射材の着用を！



日立警察署 22 0110
日高交番 42 0110

福祉事業部

田尻地区社会福祉協議会
さんあいコーナー

あんしん・安全ネットワーク部

総合学習支援事業 (田尻小学校・田尻幼稚園)

地域の方がサポーターとして活躍中

年	月	行事	対象
令和5	5	習字の基本について	3年生
	12	書初めに向けての指導 たこづくり	3年生 幼稚園児
令和6	1	むかしあそび	幼稚園児
	1	昔あそび	1年生



田尻幼稚園でのたこづくり



田尻小3年生の書初め指導

10月28日、第2回田尻学区あんしん・安全ネットワーク部会を開催した。

(市)社協、包括支援センターサン豊浦からも参加いただき、ハローライト(通信機能付き電球)の運用状況についての報告や、台風13号関連の被災状況から現状までの説明が行われた。

意見交換会では、情報の共有を図りながら高齢化に伴う問題点の議論が活発に交わされ、これからの活動の課題提

ハローライト取付例



起となる有意義な内容となった。

田尻にここサロン

12月13日、田尻団地集会所でシルバー体操を楽しむ



11月14日、令和5年度「社会福祉協議会ふくしのつどい」が行われ、日立市社会福祉協議会会長 顕彰で、梅原薫子さんが顕彰された。

梅原さんは、食生活改善推進員や、シルバーリハビリ体操指導士

梅原薫子さんふくしのつどいで顕彰

令和5年秋の叙勲で受章された星さんは、国語と体育の教師として長年学校教育に携り、学校長を歴任。定年退職後は、民生委員・児童委員として地域の福祉に貢献されている。これらの功績により、この度の叙勲となった。

星 秀男さん 秋の叙勲で瑞宝双光章を受章



の資格を活かして、長年、社会福祉活動に尽力され、この度の顕彰となった。

おもちゃライブラリー
ポケットクラブ



12月11日、ポケットクラブと合同でクリスマス会を行う

縁起の良い生き物 年が明けて早くもひと月が過ぎた。今年こそ平穩無事を祈っている。昔から鶴は千年、亀は万年と長生きをする縁起の良い生き物として大切にされて来た▼子どもの頃、亀を捕まえて帰ると親に叱られた。おわびにお酒を飲ませて放してこいと教えられた。亀を大切に扱う風習は全国にある。『日本俗信辞典』によると、千葉市ではウミガメが網に入った時は、亀を車に乗せて市中を巡回して酒とご馳走をふるまい海に放してやるそうだ。亀を助けると大漁になる(宮城)元気で長生きできる(島根)など▼昔の教科書に浦島太郎の話がある。子どもたちが亀を捕まえていじめていたので、お金を与えて亀をもらい「もう二度と捕まえるなよ」と言って海へ放してやった。それから数ヶ月後に、また亀が現れ「命を助けていただいたお礼に竜宮城へ案内します」と言われた。竜宮城に着くと美しい音姫様に迎えられる大変なおもてなしを受け、夢のような日を過ごしたと云う▼困っている人がいた時は助けてあげるといつかはそれが自分に返ってくるであろう。 (藤田)

普通救命講習会



心臓マッサージの訓練

9月29日と10月30日、普通救命講習会が行われ、合計29人の参加者が、命を助ける行動について熱心に受講した。

田尻交流センターだより

グラウンド・ゴルフ大会



1番ティーからナイスショット

11月25日、田尻小学校校庭で、田尻学区グラウンド・ゴルフ大会が行われた。64人の参加者は、寒風を吹き飛ばす手に汗握るプレーで、日頃の練習の成果を遺憾無く発揮し、楽しいひと時を過ごした。

男性の料理教室



「甘辛カレーきつね丼」に挑戦

10月18日、田尻食生活改善推進員の指導のもと、6人の参加で男性の料理教室が行われた。野菜たっぷりの3品を手際よく完成し、美味しくいただいた。

ふるさと再発見ウォーク



史跡「仏ヶ浜」の説明を聞く

11月12日、田尻学区ふるさと再発見ウォークを開催した。当日は学区内外から21人が参加、あいにくの曇天で時折小雨の降る中でのウォークとなった。史跡・遺跡と海の自然美をめぐるウォークは、田尻学区内に、たくさんの魅力があることを肌で感じていただけたと思う。

田尻幼稚園休園へ

日市立田尻幼稚園は、今年3月末をもって休園します。昭和51年(1976年)に創立し、今年卒園予定の3人を含む3181人の卒園生を輩出する同園は、地域に根ざした歴史ある幼稚園です。入園希望者が多く、1学年3クラスあった頃は、抽選での入園が当たり前。運動会は、祖父母親子三代が園児の応援に駆けつけ、園庭は大賑わい。田尻学区敬老会では、園児の歌やダンスの披露、お年寄りへの肩たたきが人気を博しました。また、地域の方たちも列をなしたPTAバザー。園庭に櫓を組んで、赤羽支部や赤羽子ども会が盆踊りの歌やお囃子を担当した夏の風物詩、赤羽夏祭りなど、思い出は尽きません。最後の園長となる飛田江利子先生は、インタビュで、幼稚園は、田尻学区や田尻交流センターとの関わりが深く、特に、『田尻っ子八木節』は幼稚園と地域が作りあげた共同作業の賜物で、「幼稚園は、地域と共に

田尻交流センター協力員募集

勤務時間：①8:30~17:00(時短勤務要相談) ②16:30~21:00
時給：1,000円
業務内容：交流センターの維持管理及び一般事務
募集人数：①2人 ②3人 (田尻学区近隣にお住いの健康な方)
応募方法：履歴書に写真添付の上、田尻交流センターへ郵送または持参ください 〒319-1416 田尻町1-35-1



『田尻っ子八木節』を踊る幼稚園児

育ててきました。長い間、お世話になりました」と感謝の言葉を述べられました。

編集後記

『田尻』の今年度は臨機応変の年でした。第22号は台風13号の影響で、今号は行事の関係で、それぞれ発行日を変更して対応しました。この一年、皆さんに支えられての活動でした。ご協力とご理解に感謝申し上げます。次年度も、どうぞ宜しくお願いいたします。(太田)



1月の展示「田尻手芸教室」

2階ギャラリーの募集

2階ギャラリー展示希望者を募集しております。連絡先 田尻交流センター 電話(42) 1552